

第3回 就労系障がい福祉サービス事業所見学

(令和元年10月4日 訪問記録)

プロジェクトの就労系障がい福祉サービス事業所見学の最終会です。あいにくの雨に見舞われ、室内での見学と意見交換が中心の会となりましたが、その分、メンバーからの疑問や質問にじっくりと答えていただくことができましたように感じます。3回の見学会を通して様々な課題を感じることができました。その内容を今後の活動に反映させたいと思います。

今回の訪問は、社会福祉法人音更町柏寿協会・帯広ガス株式会社・社会福祉法人博愛会コムコの里さらべつ・浅野青果株式会社・とかち帯広ヤマザキのプロジェクトメンバー5名と帯広市役所2名、事務局（十勝障がい者就業・生活支援センターだいち）の計9名で訪問しました。

1件目…十勝あすなろ会（就労継続支援A型事業所）

十勝あすなろ会では、企業内の高齢者施設の清掃や食事作り・ホテルのベットメイクなどの活動を中心にを行っています。今年からは公共事業との連携にも携わり、仕事の厳しさを改めて感じているとのことでした。



1日4時間・週5日間を利用の基本と考え、それ以上を希望する方は

就職へと移行していくようです。立ち上げ当初は、企業としての人材確保の観点から、A型で人材育成をし自社で雇用を進めることを考えたようですが、実際は全く違う業種へ就職をされているとの話でした。

A型を運営していくことに対し、利用希望の方はすべて受け入れているため、ご本人に対するケアを行いながら、いかにスキルアップを促していくかが課題になっているようです。支援と事業所運営の両立が目の前の課題であると感じました。



2件目…帯広ケア・センター（就労移行支援事業所）

帯広ケア・センターでは、40人以上の方が利用されている事業所の給食時間にお邪魔しました。雨のため、帯広ケア・センターの醍醐味である農作業体験は見送りとなったのがとても残念です。

到着後、黒千石豆の豆より作業を見ながら、支援の方法やアセスメントについて説明を受けました。ご本人の障がい特性やキャラクターを

活かす配置や仕事内容は即、雇用管理に使える内容でした。また、昼食時には利用者さんからレクチャーを受けながら給食準備をし、おいしいカレーをいただきました。昼食後の意見交換には、就労を間近の目標としている方4名に参加いただき、希望職種や目標にした理由などをお聞きました。偶然にも、コムコの



里さらべつと音更町柏寿協会で実習の経験がある方もいたため、実習中の良かった点など会社からの評価を改めていただく機会となりました。「課題は就職に対し積極的になれないこと」と語った方に対し、企業の方から背中を押す言葉をいただき、良いきっかけになったと感じております。

3 件目・・・帯広はちす園（就労移行支援事業所）

最後は「帯広はちす園」へ訪問しました。初めて見学したのは中札内村にある椎茸工場です。スーパーで「モッコリしいたけ」という名前を見た方もいるかと思いますが、はちす園の主力商品だそうです。その後、大正町にあるパン工場にも見学に行きました。



今回の見学では就労移行支援を利用している皆さんが、帯広市から委託のあった農福連携事業で農家に仕事に出かけていたため直接話を伺うことができませんでしたが、就労に向けての活動や事業所内の課題を伺うことができました。

課題としては、特別支援校卒業後に利用する方が多いため、就労を目指して就労移行を利用するも、仕事のイメージがつかず仕事の意欲に結び付かないことや、就労に向かう前の生活面・社会面からの取り組みが必要とのことでした。そのため、就労プログラムでは、先輩が働いている姿を実際に見学に行き仕事のイメージを広げることや、就労後の困難事例を用いて学習会を行っているそうです。



支援員としても、企業情報や求人情報など就職のための知識を広げることや、就職前のアセスメントと就職後の支援に対する課題を挙げていただきました。

就労支援は一人一人に対して個別性の高いアセスメントや支援が必要となります。就労移行支援を使えば就職できるわけではない実態を感じることができました。

今回の見学後、就労移行支援事業所を利用した方全員が就職に結びつくことができないということが話題になり、ご本人の意欲の引き出しや、就職に向かって踏み出す気持ちを高めていくことへの難しさを感じました。また、就労の能力だけでなく、生活面や社会性といった基盤の弱さを持った若者が多い実態も知ることができました。就職後の定着の支援でも、離職される方の理由が仕事の能力に関するのではなく、生活上の問題だとも言われています。就職前に身に付けておくべきことはなんなのか、障がいを持たれた方にとっての就職とはどのような意味があるのかを考えさせられた見学でした。

9月9日から始まった就労系障が福祉サービス事業所見学会では、計9事業所を訪問し皆さんに趣向を凝らした対応をいただき、大変感謝しております。この場をお借りし、お礼申し上げます。

就労系福祉障がい福祉サービス事業所出身者を雇用しているにもかかわらず、事業所を見学したことがない企業の方が大半だったため、福祉の行っている配慮を学ぶこと、利用されている方の状況を知ることは今後の雇用に大きく役立つものとなりました。

今回のプロジェクトの取り組みは、11月14日の帯広市自立支援協議会 就労・社会活動部会に反映させて参ります。見学で感じたことや学んだことのほか、就職前に身に付けておいてほしいことなど、福祉サービス事業所の皆さんとの連携の在り方を企業視点で発信する研修会です。こちらも、ぜひご参加ください。